



「鳥インフルエンザ」 対策の充実を

西村 孝夫

〔質〕 鳥インフルエンザについては、家禽類の対策と同時に、「人⇨人」感染の対応策を真剣に考えるべき時期と考える。市には、自治体として市民の生命を守るという役割。事業者として、その業務の遂行体制と、従業員たる職員をどう守るのかという二重の役割が求められる。今後、予防体制の構築、発生時の対応策についてどのように考えるか。

〔答〕 国や道の行動計画の周知を図るなど情報提供の充実に努めたい。



新たな観光産業創出 の視点でカジノ

山口 賢治

国では超党派において、6年前より、「カジノ」法制化に向けた議論をしている。これは、観光施設である、ホテルやショッピングモールなどと共に、複合的観光施設として、経済活性化策における相乗効果を期待し、取り組まれている。今後、登別温泉の新たな観光産業創出を視野に入れ、ヨーロッパ型の長期滞在健康保養施設創出を目指し、前向きに検討すべきと主張した。登別に相応しいものとなるのかを視点におき、検討するとう答弁を受けた。



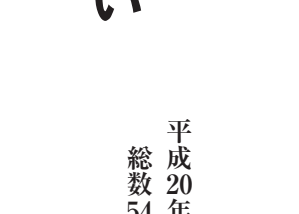
正面受付
受付横の階段を
2階に上がって
ください



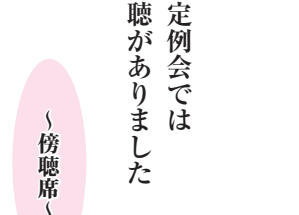
2階
市長室を正面に
左に曲がって進
んでください



傍聴受付
受付名簿に名前
と住所をお書き
ください



傍聴席入口



傍聴席

議会に聴て視て

ください

平成20年第1回定例会では
総数54名の傍聴がありました



「社会福祉の 心づくり」

辻 弘之

G8に向けて地球環境への意識が高まる中、世界規模の環境対策と併せて、市内の自然環境（動植物）を見直す考えを質問。未活用であった自然データベースの活用、自然に関する窓口を「環境対策室」に一元化すると返答。

「社会福祉の心」を全庁的に養う必要性を質問。精神・知的・身体などの障がいを考慮した雇用の可能性を、市役所全部局にヒアリングし、雇用の拡大に努める。また、「障がい」など、公文書の表記についても見直しを検討するとの返答。



登別独自の経済 活性化策や人づくりを

松山 哲男

時代の転換期に直面し経済環境は厳しく、地域経済活性化策を振り返る必要がある①活性化への今後の行政の役割②全庁的な「滞在型余暇活動計画」構想と物産店開設の考え③「起業化支援制度」の課題と今後の取り組み④企業誘致の今後の取り組み方針などを質問した。また、「人づくりと読書」をテーマに①学校図書館のあり方②「絵本の読み聞かせ」ボランティアの連携化などを質問。読書を柱に市内に在る各資源（人・物）のネットワークによる人づくりの仕組みを提言。

時代の転換期に直面し経済環境は厳しく、地域経済活性化策を振り返る必要がある①活性化への今後の行政の役割②全庁的な「滞在型余暇活動計画」構想と物産店開設の考え③「起業化支援制度」の課題と今後の取り組み④企業誘致の今後の取り組み方針などを質問した。また、「人づくりと読書」をテーマに①学校図書館のあり方②「絵本の読み聞かせ」ボランティアの連携化などを質問。読書を柱に市内に在る各資源（人・物）のネットワークによる人づくりの仕組みを提言。



障害者自立支援法 について

木村 純一

障害者自立支援法の抜本的見直しと、緊急措置に対する登別市の取り組みや、自立支援法関連事業のサービスを受けている障がい児・者の影響及び利用者の負担などについて質問した。

今回の見直しに向けた緊急措置の内容は、「利用者負担の見直しと事業者の経営基盤の強化」の2つが大きな柱となっており、今回の措置で低所得者世帯及び児童を含む課税世帯においては、かなりの軽減が図られると思われるとの答弁があった。